_ スキルアップ講座Ⅲ

プランとその周辺の諸問題 第3回「プランの効果を打ち消す動き」 NADE監事 渡辺徹

プランとその周辺の諸問題の解説も、3回目を迎えましたが、今回は「プランの効果を打ち消す動き」と題して、否定側の議論であるサーカムベンションとシフト・デメリットについて解説したいと思います。

●問題提起

この「プランの効果を打ち消す動き」について深く考えるべき必要性を強く感じたのは、第7回ディベート甲子園(2002年)の高校論題、「日本は遺伝子組み換え食品の販売を禁止すべきである。是か非か」の試合を見たときのことです。多くの場合、肯定側は、以下のような論旨でメリットを主張していました。

【肯定側の主張】

メリット「健康被害の回避」 現状分析

- ・ 現在、日本の市場における遺伝子組み換え [GM] 食品は、すべて輸入による。国内では生産していない
- ・ GM食品は、有害である

発生過程

- ・ プランをとれば、日本国内でGM食品は販売されなくなるので、日本人はGM食品を 摂取しなくなる
- ・ よって、健康被害が回避できる 重要性
- 日本人の健康は重要である

とりあえず、メリットとして成立していることは認めましょう。しかし「その後」、何かが起きるのではないかとの疑問が強く残りました。すなわち・・・

- 後継者難や人手不足の悩みからGM作物の栽培に飛びついた米国の農家は「日本に売れなくなったから」といって、直ちにGM作物の栽培を止めるのでしょうか。
- 同様に、GM作物の普及に躍起になって

いた化学メーカーは「日本がGM作物の輸入・販売を禁止したから」といって、その普及を断念するものでしょうか。巨額の開発資金を投資してきたのですから、それを回収しようとして、日本の代わりの第三国市場を探し出して、そこへの輸出を画策すると考えるのが、むしろ自然ではないでしょうか。

○ そうであれば、単にプランは「有害な」 GM食品を日本から第三国へと移転させ るだけに終わるのではないでしょうか。

俗に「上に政策あれば、下に対策あり」と言われます。あるプランが採択・実施されたとしましょう。ここで、そのような<誰かによる対策行為>が、プランの有効性を打ち消す場合、そのような動きを、ディベートの議論の用語として「サーカムベンション(プランの出しぬき行為)」と呼びます。

またプランによって問題が解決されたとしても、それと差し引きゼロになるような問題を、別の場所で<誰かが新たに発生させる>場合、それを「シフト・デメリット(問題の地域的移転による新たなデメリット)」が発生すると呼びます。

以下、そのそれぞれについて、例をまじえ て解説してみます。

●「サーカムベンション」とその対策

まず「(プラン)運転中の携帯電話の通話 禁止」「(メリット)運転中の通話がなくな るので、交通事故を防止できる」を例にとっ て、典型的なサーカムベンションの議論を検 討しましょう。

【サーカムベンションの事例】

- 1) プランによって、運転中の携帯電話使用が禁止される。
- 2) 【動機】運転中に携帯電話を運転モードに設定しないような運転手は、そもそも運

転中であっても携帯で通話をしたい。

- 3) **【手段】**そのような運転手は、禁止を 無視して、運転中に違法な通話行為を行なう。
- 4) 【結論】運転中の通話に起因する交通 事故は、結局発生してしまう。よって、メリ ットが得られない。

通常、サーカムベンションは、プランによって何らかの不利益を蒙る人が、抜け道を探し出してプランを「出し抜く」

(circumvent) ことで発生します。

議論としてのサーカムベンションの成立要件は、「①動機(誰が、抜け道探しをしようとするか)」「②手段(どのような、抜け道行為があるか)「③結論(メリットはどの程度得られなくなるか)」の三点です。もし、③結論において、全くメリットが得られなくなる(発生過程が消滅する)と判断されれば、この議論は否定側への投票理由になります。

サーカムベンションに反論をしようとする際には、上記の成立要件のいずれか一つを反論すればOKです。上記の例を練習問題として、どうやったら反論できるか、皆さんご研究ください。

●「シフト・デメリット」とその対策

次に「(プラン) 在日米軍の日本からの全面撤退」「(メリット) 在日米軍基地がなくなるので、基地周辺で米兵が引き起こしていた事故・犯罪がなくなり、住民の暮らしが安全になる」を例にとって、シフト・デメリットの議論のサンプルを提示してみます。

【シフト・デメリットの事例】

- 1) 【発生過程】プランによって、米軍基地は、日本の領土から、海外へと移設される。
- 2) しかし、プランは単に基地を移転させるだけであり、基地周辺で発生している米兵による交通事故や暴行の発生の動機や原因そのものは消滅していない。
- 3) そうであれば、基地の移転先で、米兵による交通事故や暴行事件が新たに発生する。
- 4) 【重要性】基地移転先の住民の暮らし の安全が損なわれるのは良くない。

もし、このような議論が成立すれば、肯定側のメリットと同種・同量のデメリットが発生すると論証できていることになるので、トータルのメリットはゼロという結論が容易に導き出されます。このようにシフト・デメリットは、否定側から出す議論としては、かなり強力な部類に入ると言えます。

なお、プランによって、誰かが新たに何かをし始めるという点で、シフト・デメリットはサーカムベンションに類似していますが、サーカムベンションが「メリットが得られない」という発生過程への反論であるのに対して、シフト・デメリットは「(問題が地理的に移転することで、別の場所で)新たにデメリットが発生する」と論ずるため、議論としては「デメリット」として取り扱われます。よって、議論の構成としても、通常のデメリットと同様に「発生過程」と「重要性」の説明が求められることになります。

シフト・デメリットへの反論は、通常のデメリットと同じように考えて結構です。つまり、発生過程・重要性で論理展開の弱い点に反論を加えればよい訳です。また、ターン・アランドによる反論も、もちろん有効です。

●まとめ

では、今回のおさらいです。

- ○プラン実施後、誰かがメリットの発生過程 を阻害する行為を起こすので、メリットが 得られなくなる、と論ずるのが「サーカム ベンション」 (プランの出しぬき行為)
- ○プラン実施後、メリットと同種・同様の問題を、誰かが新たに発生させるため、問題が他の場所に移るだけに終わる、と論ずるのが「シフト・デメリット」(問題の地域的移転による新たなデメリット)

いずれも、プランの効果が社会の各方面に 及んだことにより「誰かが何かをし始める」 ことで発生します。ディベーターの皆さんに、 分析して頂きたいのはまさにここです。「プ ランで得する/損する人は誰なのか」、「彼 らはどのような挙に出るのか」、リンクマッ プによる議論検討の際、この辺をじっくり考 えてみることをお薦めします。